

意見書を採択しました

本定例会において、次の意見書について発議、全員賛成により採択しました。
採択した意見書は、担当大臣等に提出しました。

核兵器禁止条約への参加を求める意見書



戦争ほど悲惨なものはない。

広島・長崎に原子爆弾が投下されて73年が経過した。その間も世界のあちこちで戦火が絶えない。

国連において、昨年7月核兵器禁止条約が採決されたが、残念ながら日本はこの条約に賛成していない。

この条約は、核兵器の開発・生産・実験・製造・取得・保有・使用とその威嚇に至るまで、核兵器に関するあらゆる活動を禁止するものとなっている。

核兵器禁止条約は、被爆者とともに日本国民が長年にわたり熱望してきた核兵器廃絶につながる画期的なものであり、唯一の被爆国である我が国は、核兵器廃絶に向けて積極的に行動するべきである。

核兵器の使用は、無差別殺人であり断じて許されるものではない。世界最大の核保有国であるアメリカ合衆国がリーダーシップをとり、地球上から核兵器を無くするように、日本政府はアメリカ合衆国を説得するべきである。又、唯一の被爆国として、日本がこの条約に参加することをアメリカ合衆国に認めさせるべきである。

よって、政府におかれては、全世界から核兵器が無くなる日を目指して、速やかに核兵器禁止条約に参加することを求める。

